

【5月のテーマ】 たよって生きる つる植物

案内人：伊東茂子・石原直子（鳥の博物館市民スタッフ）



キツタ(別名フユツタ)



ツタ(別名ナツツタ)

▲キツタはひげ状の^{きこん}気根、ツタは吸盤状の^{きゆうばん}気根で他の木に付着する

初夏はいろいろな植物が葉を広げるため、植物観察にはとても良い季節です。今回は「つる植物」に注目して観察してみましょう。てがたんコースでは様々なつる植物を見ることが出来ます。つる植物は木やフェンスなど誰かをたよって生きていますが、そのたより方は様々です。それぞれのたより方にも注目してみましょう。

2022年5月14日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

てがたんコースで見られるつる植物



ヤブガラシ



ヒルガオ



サルトリイバラ



セイヨウキツタ
(別名アイビー)



アケビ



カラスノエンドウ

つる植物の色々なたより方を観察してみよう

- | | | |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> <small>くき</small> 茎で巻きつく | <input type="checkbox"/> <small>きゅうばん</small> 吸盤で付着する | <input type="checkbox"/> <small>から</small> トゲで絡みつく |
| <input type="checkbox"/> 巻きひげで巻きつく | <input type="checkbox"/> 茎から根を出す | <input type="checkbox"/> ひっかける |